

お知らせ

病原体取扱施設関係者リスク評価トレーニングコースのご案内

開催主旨

日頃より本学会の活動にご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

日本バイオセーフティ学会では、バイオリスクマネジメント（BRM）に係るトレーニングコース（TtT）を企画してきました。その一環として、このたび「病原体取扱実務者のリスク評価トレーニングコース」を開催することといたしました。

本コースに参加する対象者を、実験室において病原体を取り扱う実務者とバイオセーフティに係る実務者から広く参加を募ります。

本トレーニングコースは、病原体取扱実務者がリスク評価の理論と意義を正しく理解して所属施設で実践できるように、また、所属施設の BRM 促進と強化を目的としており、現場におけるリスク評価を幅広く学んでいただくために、全4回のコースとして以下の様に各論3回と統括1回でのコースを予定しています。ご参加に際しては、全4回のコースをすべて受講していただくことが望ましいですが、各論単体での受講も可能です。

なお、本コース受講はバイオセーフティ専門家認定の更新時に必要なポイントに積算されます。

コース概要

- (1) 各論1：病原体を取り扱う際のリスクの認知と評価
- (2) 各論2：病原体の取り扱いにおける安全確保と評価（SOP、PPE、etc.）
- (3) 各論3：取扱い病原体の一次封じ込めとその評価（BSC を中心に）
- (4) 統 合：リスクマネジメントにおけるリスク評価

第1回の各論1（病原体を取り扱う際のリスクの認知と評価）を2024年11月26日（火）の午後1時から、戸山サンライズ (<https://www.wv100006-hp.normanet.ne.jp/tizu.htm>) にて開催します。本各論では、実際的な BRM に係る講義とシナリオに基づいた受講者と講師を交えたグループディスカッションによって行われ、机上でのリアルなシミュレーションとともに病原体取扱実務者として必要なリスク認知とリスク評価を体感しながら、講師と随時意見交換をして、病原体を取り扱うリスク評価の正しい理解と実践の方法を習得することを目指します。

1. 開催日時：2024年11月26日（火）13:00～17:00
2. 場 所：戸山サンライズ大会議室（東京都新宿区戸山 1-23-1）
3. 開催方法：当日会場にて対面で行います。
4. 受講形式：グループディスカッション
5. テーマ：病原体取扱実務者のリスク評価（各論1）
6. 内 容：病原体を取り扱う際のリスクの認知と評価について
7. 講 師：所属（担当）
 - ・篠原克明：信州大学（バイオセーフティ全般）
 - ・伊木繁雄：国立感染症研究所（バイオセーフティ全般）
 - ・井上 秀：八洲 EI テクノロジー（バイオハザード対策施設・設備）
 - ・小暮一俊：バイオメディカルサイエンス研究会（バイオハザード対策機器）
 - ・井上 智：国立感染症研究所（病原体・実験動物の取扱全般）

8. 定 員： 24名
9. 参加費：

会員	¥10,000
非会員	¥30,000
非会員／講習会受講者	¥20,000

※講習会：実験室バイオセーフティ専門家講習会

10. 参加申込：別添[参加申込書](#)にて11月18日（金）までに下記へ直接お申し込みください。先着順となります（定員になり次第締め切らせていただきます）。

申込先

一般社団法人予防衛生協会内 日本バイオセーフティ学会事務局
病原体取扱実務者リスク評価トレーニングコース 事務局

担当：小野孝浩 柴田宏昭

TEL 029-828-6888 FAX 029-828-6891

E-mail：jbsa-gakkai@primate.or.jp